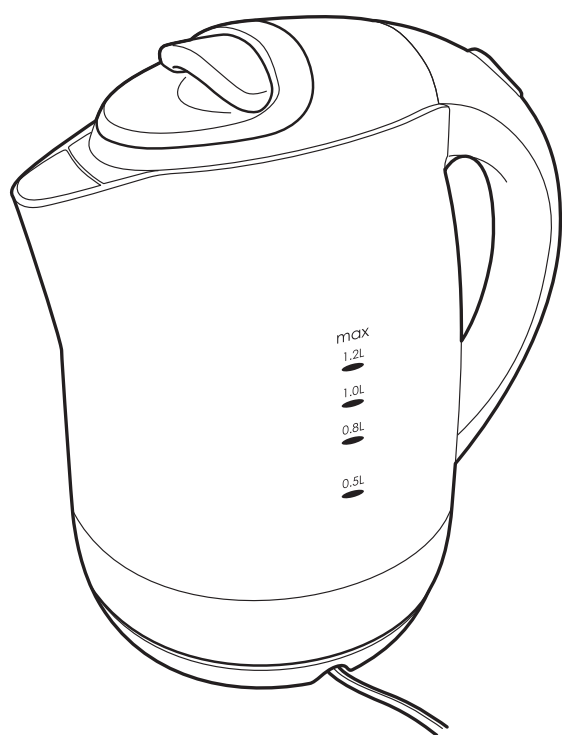
siroca

LED 内蔵 光る電気ケトル

SEK-112

取扱説明書

このたびはsiroca電気ケトル SEK-112をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この製品は湯沸かし専用です。
保温機能はついていません。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	注意 取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

（）: 禁止（してはいけない内容）を示します。	（）: 強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告

分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。
修理は､お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

禁止

子どもだけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの原因になります。

水ぬれ禁止

本体の底部や電源プレートを水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

接触禁止

注ぎ口に触れたり、手や顔を近づけない
やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。

禁止

満水目盛（max）以上の水を入れない
お湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがの原因になります。

禁止

上ふたを開けたまま使わない
湯沸かし中は、上ふたを確実に閉めてください。上ふたを開けたまま使うとお湯が流れ出て、やけどの原因になります。

禁止

注ぎ口をふきんなどでふさがない
お湯がふきこぼれて、やけどの原因になります。

禁止

本体を傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよくふったり、上ふたを持って移動したりしない
お湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがの原因になります。

禁止

本体を転倒させない
お湯が流れ出て、やけどの原因になります。

禁止

電源プレートを落としたり、衝撃を加えたりしない
感電・故障の原因になります。

禁止

本体の底部や電源プレートの接続部(金属部)にピンなどの金属片やごみを付着させない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

直火（ガス台など）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せない
火災・熱による変色・変形・故障の原因になります。

禁止

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない
湯沸かし以外の目的では使わないでください。
牛乳・紅茶・酒・スープなどを入れて使うと、泡立って内容物がふき出してやけどの原因になります。
また、ビンやカップ、レトルトパックなど液体以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因になります。

禁止

氷を入れて保冷用に使わない
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障の原因になります。

製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する
製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。
<異常・故障例>
- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする

など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む　など

電源コードを電源プレートの底面に巻きつけたまま使わない
火災の原因になります。

定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
たこ足配線などで他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して火災・感電・故障の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは拭き取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。

電源スイッチが OFF になっていることを確認してから、電源プラグを抜き差しする
けがの原因になります。

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。

注意

◆ 使用上の注意事項 ◆

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない
火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
じゅうたん、ふとん、畳、テーブルクロス、プラスチックの置台　など

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない
変形・故障の原因になります。

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない
ショート・感電・故障の原因になります。

使用中や使用後しばらくは高温部に直接触れない
高温のため、やけどの原因になります。

専用の電源プレート以外は使わない
電源プレートは他の機器に転用しない
発火・故障の原因になります。

湯沸かし中は、本体を移動しない
お湯が流れ出たり、蒸気に触れたりして、やけどの原因になります。

湯沸かし中は、お湯を注がない
お湯がふきこぼれ、やけどの原因になります。

空だきをしない
水が入っていない状態で通電すると、故障の原因になります。

お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの原因になります。

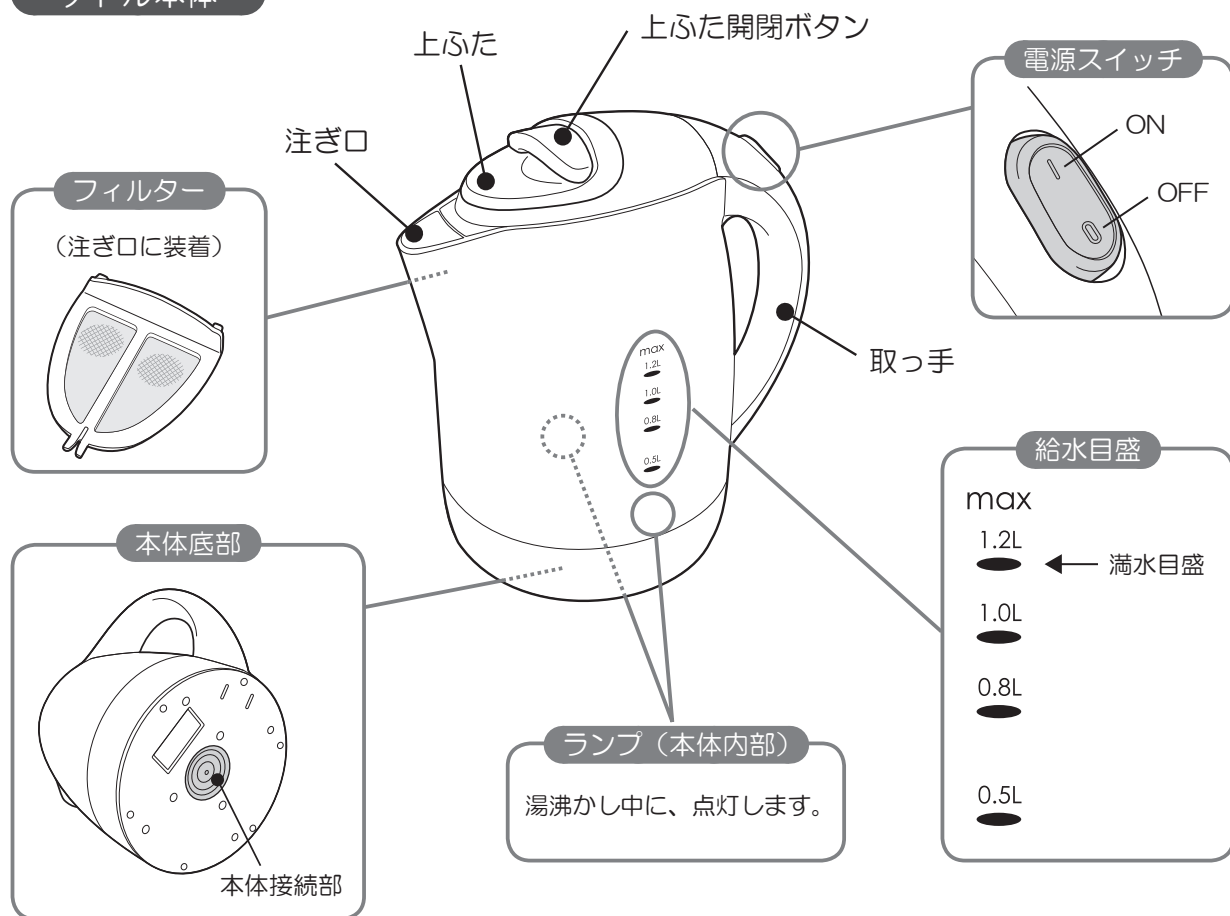
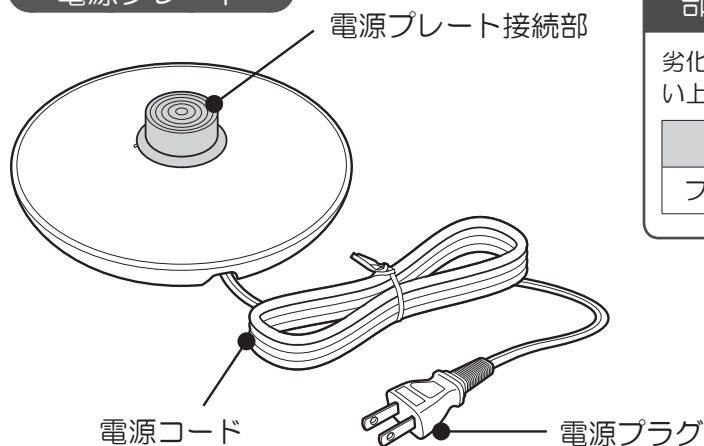
使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

仕様

品名（型番）	siroca 電気ケトル（SEK-112）	電圧	AC100V
定格容量	1.2L	周波数	50/60Hz
サイズ（約）	幅 218 ×奥行 146 ×高さ 231mm（電源プレート含む）	消費電力	1200W
		コード長（約）	1.3m
重量（約）	870g（本体のみの重量は 710g）	生産国	中国

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国ではお使いになれません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

各部のなまえ

ケトル本体

部品・消耗品

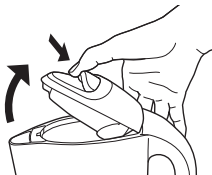
劣化・損傷したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

部品名	部品コード
フィルター	SEK-112FT

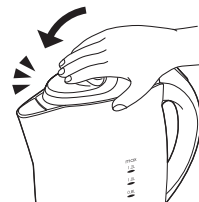
- この製品は、ケトル本体と電源プレートのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。
- 空だきをすると、本体内の空だき防止機能が作動して電源スイッチが自動的に切れます。

上ふたの開閉

開けかた

上ふた開閉ボタンを親指で押しながら、上ふたを引き上げる

閉めかた

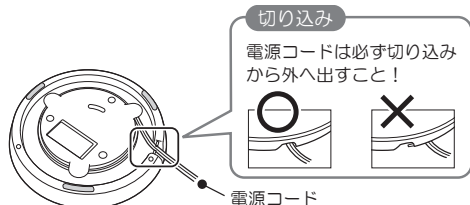
上ふたが“カチッ”と音がするまで、しっかり上から押し込む

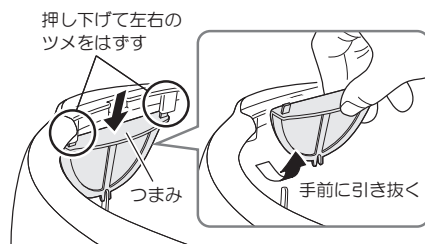
※ 上ふたはまっすぐに押し込んでください。斜めにずれた状態で押すと、閉まりきらない可能性があります。

電源コードのセット

電源コードを電源プレートの切り込みから外に出して、電源プレートをセットする

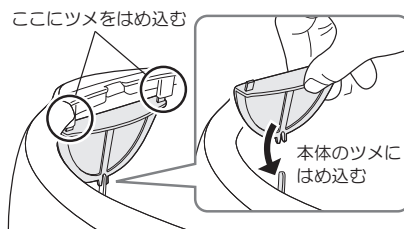
※ 電源コードは、電源プレートの底面に巻きつけて収納できます。

※ 電源コードを巻きつけたまま使わないでください。

フィルターのつけはずし

はずしかた

フィルターのつまみを押し下げて注ぎ口の結合部から左右のツメをはずし、フィルターを本体から引き抜く

取りつけかた

フィルター下部を本体のツメにはめ込み、フィルター上部の左右のツメを結合部に合わせてきちんとはめ込む

※ お湯を沸かすときは、フィルターがきちんと取りつけられていることを確認してください。フィルターが取りつけられていないと、お湯が沸いても電源がOFF にならない場合があります。

はじめてお使いになる前に

この製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いにならなかった場合は、本体内部にほこりやごみなどが付着している可能性があります。以下の手順で本体内部を洗浄してからお使いください。

1 満水目盛（max）まで水を入れ、お湯を沸かす

⇒ お湯の沸かしかたについては、６～７ページの「お湯を沸かす」を参照してください。

2 沸騰したら、いったんお湯を捨てる

※ お湯を捨てるときは、必ず、本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

※ お湯を捨てるときに、本体および本体接続部に手を触れないよう注意してください。湯沸かし完了直後は高温になっており、やけどの原因になります。

3 水を入れて１～２回すすぐ

お湯を沸かす

1 本体に水を入れる

上ふたを開けて、別容器から本体に水を注ぎ入れます。

※ 蛇口から直接水を入れないでください。
※ 本体に水を入れるときは、本体外部に水がかからないように注意してください。
※ 電源プレートから本体を下ろした状態で水を入れてください。
※ 流し台などのぬれた場所に置かないでください。底面がぬれて故障の原因になります。
※ 満水目盛（max）以上の水は入れないでください。ふきこぼれの原因になります。
※ 空だきはしないでください。故障の原因になります。

2 本体の電源が OFF になっていることを確認して、電源プレートに本体をセットする

上ふたを閉め、本体を電源プレートに正しくセットします。

※ 上ふたがきちんと閉まっていることを確認してください。
上ふたがきちんと閉まっていないと、お湯が沸いても電源が OFF にならないことがあります。
※ 電源プレートは、清潔で平らな場所に置いてください。
※ この製品に付属の電源プレート以外は絶対に使わないでください。

お湯を沸かす

3 電源プラグをコンセントに差し込む

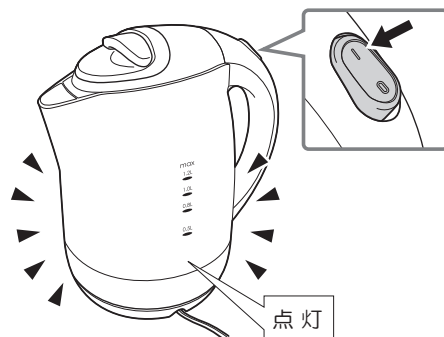
電源プレートの電源プラグをコンセントに差し込みます。

※ 定格 15A・交流 100V のコンセントを単独でお使いください。他の機器と併用すると、発熱による火災・感電・故障の原因になります。

4 電源を入れる

取っ手の上部にある電源スイッチの上側（❙側）を押します。
電源がONになり、湯沸かしが始まります。

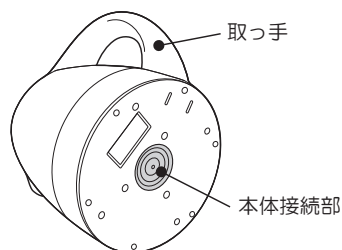
※ 電源がONになると、本体のランプが点灯します。

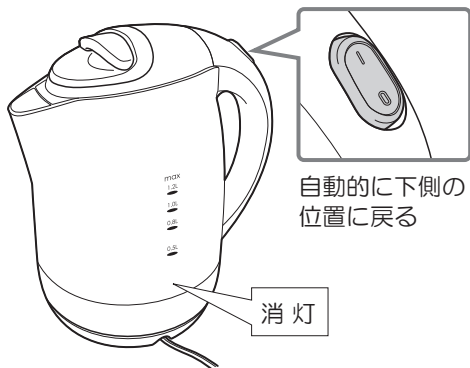
※ 湯沸かし中は、絶対に上ふたを開けたり、蒸気に手や顔を近づけたりしないでください。やけどの原因になります。

空だき防止機能について

本体内部に水が入っていない状態で電源をONにすると、空だき防止機能が作動して、電源が自動的にOFFになります。

湯沸かしを中止したいときは

電源スイッチの下側（０側）を押して、電源をOFFにします。

※ 湯沸かし中や湯沸かし完了直後は、本体および本体接続部は非常に高温になりますので、触れないようにしてください。また、取っ手も熱くなっている可能性がありますので注意してください。
※ やけどの原因になりますので、以下の事項を守ってください。
- 注ぎ口にふきんをかけない
- 本体のランプ点灯中は上ふたを開けない
- 湯沸かし中は湯を注がない
- 湯沸かし中は本体を移動させない

湯沸かしが完了すると…

“カチンッ”という音とともに自動的に電源がOFFになり、本体のランプが消灯します。

※ 保温機能はありません。

沸騰の目安時間	
満水時（1.2L）	約7分20秒
コーヒー1杯分（125ml）	約1分

※ 水温、室温ともに23℃の場合の目安時間です。
※ 沸騰するまでの時間は、水温・室温などによって異なります。
※ 沸騰してから自動的に電源が切れるまでに20～30秒程時間がかかります。

※ 湯沸かし完了直後に電源スイッチを押し続けて、沸騰を無理に継続させないでください。蒸気がもれてやけどの原因になります。
※ 湯沸かし完了後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。特に、乳幼児のいたずらに注意してください。感電・けがの原因になります。

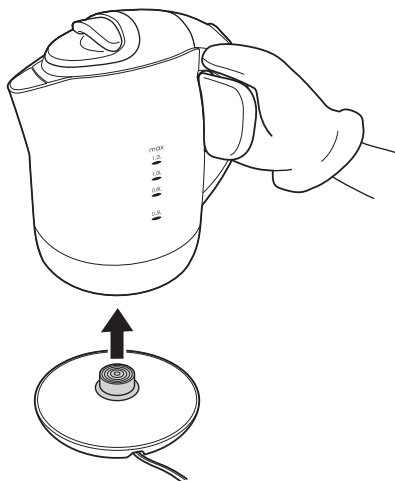
お湯を注ぐ

湯沸かしが完了したら、本体の電源がOFFになっていることを確認して、お湯を注ぎます。

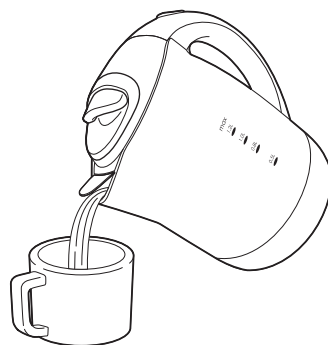
※ 湯沸かし完了直後に上ふたを開けないでください。やけどの原因になります。
※ 湯沸かし中や湯沸かし完了直後は、本体および本体接続部は非常に高温になりますので、触れないようにしてください。また、取っ手も熱くなっている可能性がありますので注意してください。

1 本体の電源がOFFになっていることを確認して、電源プレートから本体をはずす

取っ手を持って本体を持ち上げ、電源プレートからはずします。

※ 本体は非常に高温になっていますので注意してください。ミトンの着用をおすすめします。
※ 絶対に本体を後ろに傾けないでください。お湯がこぼれて、やけどの原因になります。

2 お湯を注ぐ

本体を傾けて、カップなどにお湯を注ぎます。

※ 注ぐときは、本体および本体接続部に手を触れないでください。高温になっており、やけどの原因になります。
※ 一気に深く傾けて注がないでください。お湯がこぼれ、やけどの原因になります。
※ 余ったお湯はすべて捨てて、本体内部にお湯を残さないようにしてください。本体内部の変色やにおいの原因になります。

3 本体を電源プレートに戻す

● 使用後しばらくすると、“カチンッ”と音がすることがありますが、これは熱せられたプラスチックや金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。
● この製品は蒸気を感知して電源が切れるしくみになっています。蒸気が取っ手の下から水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。また、故障の原因になることもありませんので、安心してお使いください。

お手入れ

※ お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
※ 本体が十分に冷めてからお手入れしてください。やけどの原因になります。
※ 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面を傷つける原因になります。
※ 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。表面を傷つける原因になります。
※ 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。

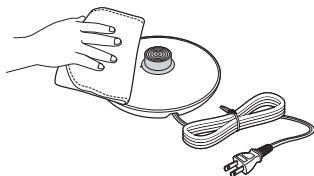
本体外部・電源プレート

直接水をかけたり、丸洗いをしたりしないでください。

本体外部・電源プレートのプラスチック部分

- やわらかいふきんで拭きます。
- 汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。

本体接続部・電源プレート接続部

- 乾いたやわらかいふきんで拭きます。

フィルター

- フィルターは注ぎ口からはずして、水洗いします。
- よく乾かしてから、本体に取りつけます。

⇒ はずしかた・取りつけかたについては、5 ページの「フィルターのつけはずし」を参照してください。

本体内部

お使いになるうちに、水に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が本体内部に付着します。

- 虹色・黒色・乳白色などの変色
- 赤さび状の斑点
- 白い膜状の浮遊物

これは水アカといわれるもので衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。

※ ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水をお使いになると、水アカが付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

通常のお手入れ

- 水でよくすすぎます。その後、自然乾燥でよく乾かしてください。

クエン酸洗浄（汚れがひどいとき）

① 水を満水目盛(max)まで入れ、クエン酸(30g 程度)を入れてかき混ぜます。
② 上ふたを閉め、電源スイッチを ON にして沸騰させます。その後、約 2 時間放置します。
③ お湯を捨て、水でよくすすぎます。汚れが残っているときは、やわらかいスポンジでこすり落とします。
④ クエン酸のにおいが気になるときは、水を満水目盛（max）まで入れて再度沸騰させ、お湯を捨て、水でよくすすぎます。

Q＆A

質問（Q）	回答（A）
水以外のものを入れてもいいですか？	水以外のものは入れないでください。内容物がふき出してやけどや故障の原因になります。
お湯は毎日入れ替える必要がありますか？	使い終わったら残り湯を捨てて、新しい水に入れ替えてください。お湯を入れたまま放置すると、水アカが付着する原因になります。
保温はできますか？	この製品には保温機能はありません。

故障かなと思ったら

こんなときは故障ではありません。
修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた	参照ページ
作動しない。 本体のランプが点灯しない。 沸騰前に止まってしまう。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。	6
	本体が電源プレートに正しくセットされていますか。	本体を電源プレートの上に正しくセットしてください。	6
	電源スイッチが OFF（下側が押されている状態）になっていませんか。	電源スイッチを ON（上側が押されている状態）にしてください。	7
	本体接続部および電源プレート接続部に金属片やごみが付着していませんか。	いったん電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜き、本体接続部や電源プレート接続部に付着している金属片やごみを取り除いてください。	9
	水が入っていない状態で電源スイッチを ON にしていませんか。	水が入っていない状態で空だきすると、空だき防止機能が作動して電源が自動的に OFF になります。 いったん本体を電源プレートからはずし、本体の熱を十分に冷ましてから水を入れて、お湯を沸かしてください。	6
沸騰が止まらない。	上ふたがきちんと閉まっていますか。	上ふたは“カチッ”と音がするまでまっすぐに押し込んで、ずれないようにきちんと閉めてください。	5
	フィルターをはずしていませんか。	フィルターをきちんと取りつけてください。	5
注ぎ口や上ふたからお湯がふき出る。	満水目盛（max）以上の水を入れていませんか。	水は満水目盛（max）以下にしてください。	6
湯沸かし中の音がいつもより大きい。	本体内部に水アカなどが付着して汚れていませんか。	水アカなどの汚れがひどくなると、湯沸かし中の音が大きくなります。クエン酸洗浄を行ってください。	9
お湯に白い膜状のものが浮遊している。	・ミネラルウォーターやアルカリイオン水をお使いになっていませんか。 ・お手入れなしで長期間お使いになっていませんか。	水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分によるもので、本体内部の腐食や異常によるものではありません。 ただし、ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分が多い水をお使いになると、水アカが付着しやすくなります。汚れがひどい場合は、クエン酸洗浄を行ってください。	9
本体内部に赤さび状の斑点や虹色などの変色がある。			

こんなとき	理　由	参照ページ
沸騰してもすぐに電源が切れない。	沸騰してから自動的に電源が切れるまでに 20 ～ 30 秒程時間がかかる仕様になっているため、故障ではありません。	7
お湯を沸かすとプラスチック臭がする。	使い始めのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。お使いになるうちににおいは少なくなりますが、気になる場合は１～２回お湯で洗浄してからお使いください。	—
取っ手の下から水滴が垂れる。	この製品は蒸気を感知して電源が切れるしくみになっています。蒸気が取っ手の下から水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。	8

長年ご使用の電気ケトルの点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

愛情点検

こんな症状はありませんか？

・本体が異常に熱い
・コードや電源プラグが異常に熱い
・焦げ臭いにおいがする
・コードを動かすと、電源が入らないことがある
・その他の異常・故障がある

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。
ご自分での修理は危険です。絶対に分解しないでください。

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。
保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から 1 年未満）の修理
  保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から 1 年以上）修理
  修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から 1 年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

この電気ケトルの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

＜サポートセンター＞	＜修理センター＞
TEL: 03-5413-6125 FAX: 03-5413-6128 E-mail でのお問い合わせ: info@aucsale.com 受付時間: 午前 10 時～午後 5 時 （土・日・祝祭日、年末年始および弊社指定休業日を除く）	〒 343-0032　埼玉県越谷市袋山 648-5 株式会社オークセール サポートグループ返品・修理センター

サポートセンターからのお願い

・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。
・ サポートセンターおよび修理センターの電話番号／ FAX 番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

siroca の最新情報はこちらでチェック！

siroca 公式
Facebook（フェイスブック）
http://www.facebook.com/siroca.jp

チーム siroca のブログ
http://ameblo.jp/siroca/